

- <巻頭言>
大学で変わらないこと、変わったこと / 奥野 武俊 1

特集：第2回

学生生活の今昔

- 学生生活の「今昔」
アンケート集計結果：大学17期～現役生編 2
- 昭和43年春、府立大学至誠寮 / 福田 和廣 12
- 至誠寮のひとつとなり / 谷本 周太・夏目 匠 14

- 17期同窓会報告 / 小倉 雅人 16

- 学内行事報告

- ◇新入生歓迎セミナー報告 / 勝井 辰博 17
- ◇オープンカレッジ報告 / 大塚 耕司 18
- ◇雨ニモマケズ 風ニモマケズ
- テクノラボツアー報告 - / 有馬 正和 20

- 理事会報告 / 会計報告 22
- 会員録 update..... 23

- 編集後記

◆表紙絵◆

「浮見堂」

牧野 功治

(大学41期)

◆表紙デザイン◆

平岡 良介

(大学49期)

「鴉朋」編集委員 岩崎 泰典(大学20期)岸 光男(大学25期)竹田 太樹(大学30期)三宅 成司郎(大学30期)
野口 利仁(大学33期)池田 和外(大学35期)坪郷 尚(大学39期)片山 徹(大学41期)
牧野 功治(大学41期)中谷 直樹(大学45期)奥村 英晃(大学46期)田角 宏美(大学47期)

●巻頭言●

大学で変わらないこと, 変わったこと

副会長 奥野武俊(大学17期)

H17年に大学が新しくなるので, 全学的に様々なものを変える作業が続いている。大学の教育理念は, 時代と共に変わるものではないとも言えるが, その表現はやはり再検討が必要であろうということで, 教育委員会で議論された。その時, 「教員は, 対話による教授を重視し, 高度に専門的な知の継承を促す教育に努め, 学生は, 自学自習を基本として, 主体的かつ創造的な研究能力の涵養に努める」と書いたら, これは昔の考えで, 最近の大学では, このような訳にいかないで, 理念の中に書くべきではないという意見があった。

同窓会の諸兄にとっては, この表現は当たり前で, 改めて理念の中に書くようなことでは無いと思われる方が多いと推察するが, 実は, 最近の大学の教育では, いわゆる「手取り, 足取り, 懇切丁寧・・・」と言えるような風潮にあり, 教員のいわゆる「ノート講義」は全く姿を消し, 大学生が最初から「自分で学び, 主体的に・・・」であったのは昔の話・・・今は, これを教えなければならないのだから, 理念や目標に書くのはおかしいというのである。

もう20年も前のことであるが, 英国の大学で, 半年ほど演習科目を担当したことがある。その時, 英国の大学の先生は学生を「手取り足取り」指導しなければならないことを経験して, 学生達がかなり主体的, 自主的であるのに, このようなことをするから, 英国は遅れる・・・と感じ, 日本が工業先進国として発展するのは, 大学の先生が大人相手(?)の教育をしているためではないかと思ったほどであった。ところが, 最近の日本の大学教育では, あの時感じた英国で感じたことを, 今になってやろうとしているように見える。

日本の多くの大学が教育に取り入れようとしている, 教育方法, 教育評価システムなどは, かつて欧米が数十年の歴史と文化の中で育ててきたもので, 決して簡単に出来上がったものではなく, 多くの失敗を重ねながらたどり着いた結果である。それなのに, これまでの日本では, 多くのものがそうであったように, 今回もやはり, 国際化という旗のもとに, その「型」を取り入れようとしているように思える。

ただ, 確かに, これは時代の大きな流れで, 決して間違っていないのであろう。その答えは歴史だけが明らかにするはずである。この流れに逆らうことは無意味であるとも思っているが, うまくいくだろうか心配になる。例えば, 大学生になってから, 主体的になることを教えなければならないとすれば, 本当にできることなのだろうか? そんなことは, 小学生の時から学ばなければならないのでは・・・と思う。でも, やらなければならない・・・難しいけど, 必要な時代なのである。

「自分たちは、あの頃どんな学生生活を送っていたのかな？」と昔を懐かしく思い出すとともに「それは、今の学生生活とはどれだけ違うのかな？」という素朴な疑問を解決すべく、卒業生および現役生の方々にアンケートをお願いしました。

アンケートは、大学周辺での生活を中心とした項目を設定し、記入形式で行いました。

今回は、**大学17期～現役生の皆様のご回答**を掲載するとともに、

大学20期 福田和廣様・大学51期 谷本周太様・夏目匠様のご寄稿を紹介させていただきます。

◆ 「住」環境についてお答え下さい ◆

Q. あなたの時代の至誠寮は？

大学
20
期

<至誠寮の規模(木造時代の寮)>

4人部屋、寮生320名、個人用1.5畳/人で、4名/室の共用部は10～12畳:(TM氏, KM氏)

<部屋内部の様子>

比較的整理整頓されていた。よく掃除をした。禁煙:(TM氏)

汚い。共用部分は外と殆ど同じ状態:(KM氏)

<食事>

土曜日のあぶらぎった焼き飯。時間が経つとヒビの入るカレー:(TM氏)

麦が2割程度の飯。野良犬に残飯をあげても臭いを嗅ぐだけで、そっぽを向かれた事がある:(KM氏)

<寮生活での規則等>

門限なし。初期の頃は電話が1～2台しかなく不便だった:(TM氏)

<その他>

寮では、試験前に有力な情報が沢山入ってきたので、楽をして単位をとれた:(TM氏)

大学30期

ー規模:16畳/部屋が3～4人部屋

ー寮費:2,000円/月

ー規則等:あるブロック(2A)では、上下関係が厳しく酒は吐くまで飲まされる。

現役生(大学50期以降)

<食事>

最悪。朝飯にうどん+餃子とか出るし。栄養価も明らかにOUT:(M1)

<寮生活での規則等>

寮で晴れの日でもドアに傘が立てかけてあったら、中でヤッてます:(匿名)

その他、至誠寮の現在:

→p.14 「至誠寮のひとり」へ!

Q. 下宿はどんな感じでしたか？

大学 20 期

<規模>

部屋割りは1人部屋, 2人部屋(兄弟)等.
8 畳廊下付: (KM氏), 3畳(4. 5畳?): (HD氏), 2
K: (TY氏)

<下宿先の名前・場所>

堺東(ホテル街のそば. 井上さん方): (KM氏), アト
ラス: (HD氏), 一般の文化住宅: (TY氏)

<下宿代>

部屋代だけで月¥8,000 程度(堺東下宿): (KM
氏), 大学の傍で月¥5,000/4.5 畳: (KM氏), 朝夕
食付きで月¥15,000-? (アトラス): (HD氏), 月(2
K)¥8,000-: (TY氏)

<部屋内部の様子>

きれい(堺東): (KM氏), きれい. 整理整頓十分(2
K): (TY氏), 築後直で新しかった(アトラス): (HD
氏)

<管理人>

下宿のおばさんに, 非常にお世話になった. 洗濯は
全てやっていただいた, 又, クリスマスパティーを
やると, 料理全てを用意してくれた. 卒業後も私の誕
生日には必ず電話をくれた. 下宿には 3 名いたが,
下宿で食事をしてしたのは私だけ(他の 2 人は逃げ
たのかもしれない): (KM氏)
色々気を使ってくれた. 特に向かいの家族がそうで
あった: (TY氏)

大学 30 期

—規模: 4 畳~6 畳一間の部屋
—下宿代: 20,000 円前後

現役生(大学 50 期以降)

<規模>

1 人部屋.

マンション(7.5 畳 1 ルーム、バストイレ・セパレート): (M1), マ
ンション 4 階建て: (B4), ワンルームマンション: (B4), 7畳ぐら
い: (M2)

<下宿先の名前・場所>

サンクラーージュ中百舌鳥(百舌鳥梅町): (M1), 学校から歩いて
1分: (B4), 北野田駅近く: (B4)

<下宿代>

光熱費込みで¥55,000, ワンルーム¥50,000/月, 共益費込み
¥33,000, ワンルーム¥58,000/月

<部屋内部の様子>

汚い: (複数回答), 綺麗にしている, 散らかしている, ゴキブリが
いる, むちゃきれい! すごく快適!

<食事>

下宿で週2から3回自炊. それ以外はコンビニ弁当.

<管理人>

未だかつて会ったこと無いです: (M1), 知らない... 河内長
野のおじさんらしい: (B4)

<その他>

絶対 1 人暮らしです. 寮に入ると学生生活は終了: (M1)

平成 15 年度分会費納入のお願い

同窓会費をまだお送りいただいていない方はできるだけ早く同封の振込用紙にて納入下さいますようお願い
申し上げます。(平成 15 年 2 月末日現在で未納の方には請求書を同封しておりますのでご確認下さい。)
毎回催促がましくご請求申し上げ誠に心苦しいのですが, 何分本会は皆様方からの会費のみで運営いた
しております。なにとぞ御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Q. 「夜の生態系」について教えてください

大学 20 期	大学 28 期
<p>マージャンをする部屋が決まっていた。その部屋の寮生でマージャンをやらない人は悲惨だったと思う。:(TM氏)</p> <p>真面目に勉強に励んでいました。:(HD氏)</p> <p>アルバイトが主であったように思う。:(TY氏)</p> <p>酔っぱらって、もどしたコンニャクをおでこに載せて寝ているやつがいた。焼酎にインスタントコーヒを混ぜウイスキー色にして、高級ウイスキーと称し無理やり呑ませる輩がいた:(KM氏)</p>	<p>漕艇部に入っていたので、飲みだすととことん飲んだ:(YK氏)</p>
	<p>現役生(大学 50 期以降)</p> <p>寮ではとにかく酒を飲まされる。全体主義的な感じがたまらなく嫌だ。新歓では、「金杯」と称する、安っぽい金メッキの杯(もの凄い量の酒が入る)を飲まされた。全員 DQN だと思っていたが、宴会以外ではみんなやさしい先輩で、寮を辞めてからもいろいろ気遣ってもらったりした。:(匿名)</p> <p>門限とか親の目がないので、やりたい放題!:(匿名)</p>

◆ 「食」生活についてお答え下さい ◆

Q. 学食・生協喫茶等のメニューは?

大学 20 期	大学 28 期
<p>＜学食で好んで食べていたメニューと価格＞</p> <p>AorBランチ(¥80~90). 金欠の時はご飯+味噌汁+生卵(¥50-以下). 安い為:(YI氏)</p> <p>Bランチ(¥85). 1食に85円以上使えなかった:(TM氏)</p> <p>月に一回食べた靴底のステーキ(確か¥400).:(HD氏)</p> <p>ポークカツ. 名前の割りに安かった:(TY氏)</p> <p>カレー, うどん. 安い:(TK氏)</p> <p>カレーライス. ¥200 程度? 安いのも理由であるが, 昼に部活のランニングがあったので急いで食べる事ができた:(HT氏)</p> <p>良く利用したはずですが記憶なし:(TH氏, ET氏, RM氏)</p> <p>＜生協喫茶(「セリーゼ」)で食べていたメニューと価格＞</p> <p>ホットレモン(初恋の味):(HD氏)</p> <p>二人で行って, 別々の物2品ずつを注文した所, 各人に4品を持ってこられた:(RM氏)</p> <p>あったことすら記憶無し:(HT氏, YI氏)</p>	<p>＜学食で好んで食べていたメニュー＞</p> <p>定食. まずくても, 安く食べられたから:(YK氏)</p> <p>＜生協喫茶(「セリーゼ」)で食べていたメニュー＞</p> <p>名前は忘れたが, スパゲッティ系で400円ぐらいだったか:(YK氏)</p>

大学 17 期

＜学食で好んで食べていたメニューと価格＞

ラグビーの部室が学食のすぐ横にあったが、しばらくして運動場に移った時代です。安くてお腹をふくらませるメニュー、その中でも記憶に残っているのは、カツ丼。カツの切り身？が三切れほどとねぎの切ったのが数切れ乗ってっているだけのシンプルな丼ぶり、でも甘い汁だけはたっぷりとかかっていたので、どんぶり飯をすべて食べることができた。100 円ぐらいだったかな。いまだにカツ丼は好きで、自分でも豪華なのを作りますが、そろそろ止めねば：(MO 氏)

＜生協喫茶(セリーゼ)のメニュー＞

夏の暑い日、ラグビーの練習が終わった時、カウンターに座り、目の前で、砂糖とみかんの缶詰と氷をミキサーにかけて差し出されたジュースの味が忘れられない。少しオーバーか？でも、とにかく渴きと熱さをさましてくれたのは事実です：(MO 氏)

大学 30 期

＜学食で好んで食べていたメニュー＞

チキンカツ、カレー、ラーメン、府大ランチ(安いものを選んで食べる傾向あり。リッチなときは府大ランチ)

＜学食のメニュー価格＞

だいたい 200 円前後で食べられた。(府大ランチは、280 円)

＜生協喫茶(セリーゼ)のメニュー＞

ピカタスバ、ポークピカタ

現役生(大学 50 期以降)

＜学食で好んで食べているメニューと価格＞

かき揚げそば(うまいから)：(M1)、日によって違う(最近はメニューが豊富だから)：(M2)、チーズささみフライ、メンチカツ(おいしい、チーズが大好き)：(M2)、あんまり食べない(まずいから)：(M2)、台湾ラーメン(おいしい)：(B4)、うどん(100 円)：(B4)、とりレバー煮(おいしいから)：(B4)

＜生協喫茶(「セリーゼ」)で食べているメニューと価格＞

セリーゼ弁当(¥550)：(複数回答)、ランチ：(複数回答)、あんまり行かない：(M2)、オムライス(もうすこし値段上げてもいいとおもう)：(M2)、とんかつ定食：(B4)、ベーコンエッグ(300 円)：(B4)

Q. あなたがよく行っていた食堂・喫茶店は？

大学 28 期

＜よく行っていた食堂・

喫茶店と価格＞

今はないし、名前も忘れた。コーヒー 200 円、バーガー 200 円だったか？：(YK 氏)

大学 30 期

＜良く行った喫茶店＞

マイルド、アトラス、ギマ(漢字やったか?)、大学横の喫茶店、ポボキ

＜良く行った食堂＞

お好み焼き若草、大学横の中華料理屋(今もある)、セルフうどん屋、中百舌鳥門近くの刺青おっちゃんの屋台ラーメン

＜食堂・喫茶店の平均価格＞

400～500 円程度

大学 20 期

<よく行っていた食堂・喫茶店>

アトラス:2名, 加勢膳:1名, 堺東のみんな:(HD氏)
中百舌鳥門から出て駅へ行く途中の右手にあった食堂(卒論の時, 殆ど毎日夕食を摂っていた. 近所のオッチャンがコックとして勤めていた. 加勢善の事?):(HT氏)

<上記食堂・喫茶店のメニュー・価格>

「アトラス」焼き飯+ゆで卵半分が付いた野菜サラダ. ¥150程度(?):

YI氏, 定食 ¥150ぐらい:(TM氏)

「加勢善」野菜炒め+飯:YI君, 野菜炒め, 丼物. ¥4~500:(HT氏)

<その他>

部活の帰りには何時も白鷺駅前アイス, お菓子, ジュース等を買っていた:(HT氏)

奨学金(月に一度)を貰った時に生協でビーフシチューを食べた記憶がある:(TM氏)

卒業後十数年経って, 大学を訪れ昼食をアトラスで摂った際, アトラスのご主人が, 「昔よく焼き飯と野菜サラダを食べていた学生」と覚えて頂いていた:(YI氏)

学校の周りでうろついていた記憶はない. 北・南界限が主:(TK氏)

現役生(大学 50 期以降)

<よく行く食堂・喫茶店>

なか卯:(複数回答), 夢眠:(複数回答), 豚麺:(複数回答), CoCo 壺, 味門, リンガーハット

<上記食堂・喫茶店のメニュー・価格>

夢眠のマーボ井とから揚げのセット(800円):(B4), 豚麺の豚カツ定食(¥550だったような). カツの量が鬼:(M1), リンガーハットのチャンポン:(M2), なか卯の牛丼(280円):(複数回答)

<その他>

中百舌鳥門前の Mos に夜行かない方がいいです. 特にカップル. 店員は, 夜勤で相当テンション低くなっています. 店内でいちゃつこうものなら酷いハンバーガーを食わせませす. ハラペーニョ大盛りとか. 身に覚えあり. あと, 「トマトは長野産です」とか書いてありますが, たまにサミー(現イズミヤ)産です. 買いに行った覚えあり:(匿名)

◆ 娯楽についてお答え下さい ◆

Q. どんな遊びをしていましたか?

大学 17 期

<よくやった娯楽>

京都から2時間かけて通っていて, 京阪で環状線に乗り換える時, 京橋で良くパチンコをした. まだ, チューリップが出始めて, 電子化されていないころのことで, テクニックで楽しめた時代です. だから卒業後, 自動化, 電子化された現代のパチンコはいまだにやる気がしません. 麻雀は大学の近くでよくやりました. 鍛えられたおかげで, 入社した日立造船は麻雀の盛んな会社でしたが, 負けることはほとんどありませんでした.

大学 30 期

<よくやった娯楽>

麻雀, ボーリングが圧倒的. その他は, ビリヤード, パチンコ, 卓球, 合コン.

<場所>

雀荘名:トップ, 一龍

ボーリング場:ワコーレーン, 上野芝ボウル

大学 20 期

<よくやった娯楽>
 麻雀, ビリヤード, ボーリング, パチンコが大多数.
 合コン・堺ミュージック: (TH 氏)
 堺ミュージック, 東洋ショー: HD 君
 ソフトボール (休講の時はそれとなく人が集まり, 次の授業も忘れやっていました). ビリヤード (若い女性店員のミニスカートが記憶にあり). : YI 君

<場所>
 ボーリング: 中百舌鳥ダイエーのワコーレーン, おりおのボーリング
 麻雀: 中百舌鳥門を出た信号の近くの雀荘, 東(「ひがし」ではありません), ログスそして寮

大学 28 期

<よくやった娯楽>
 麻雀, 合コン: (YK 氏)

<場所>
 五番館?: (YK 氏)

現役生(大学 50 期以降)

<よくやっている娯楽(場所)>
 麻雀(部室・府大池周り): (複数回答), カラオケ(難波): (複数回答), 電車通学時の読書, フットサル(楽しい), 映画(面白い), テニス, ボーリング, 卓球(いろいろ)

Q. 行き付けの飲み屋さんを教えてください

大学 20 期

加勢膳は良くお世話になりました: (HD 氏), 中百舌鳥駅の傍のおでん屋: (KM 氏), 寮の裏の通称「いらっさ」: (TM 氏), 堺東の餃子の「みんな」。昼休みに研究室の数名で6人前/人の餃子を食べ, 研究室の午後, 姫野先生が「この部屋はエライくさいナー」と: (YI 氏)

大学 30 期

福美, 串よし, 焼き鳥屋

大学 28 期

大黒屋(白鷺駅に近い鉄塔の下のロータリー): (YK 氏)

現役生(大学 50 期以降)

大蔵(中百舌鳥): (複数回答), 八剣伝(中百舌鳥): (複数回答), 串寅(百舌鳥梅町): (M1), キテヤ・あらかわ・川寿司(中百舌鳥): (M2), きて屋・うるとら屋・アーシーマーシー(中百舌鳥): (M2)

Q. 娯楽について自由にお書き下さい

現役生(大学 50 期以降)

クラブ活動は, 娯楽ではないけど, 行ってよかった. 一生の友達と思い出を手に入れました: (M1)
 大学の周りには飲み屋街が少ないと思う. 研究室で飲み会やっても, 同じ場所ばかりになってしまっている: (M2)

大学 20 期

当時、車にあこがれていました。免許証は校内の空き地で友人の車を借りて練習し、直接試験場に行って受験し取得しました。確か取得料 1600 円で済みました。免許を取った翌日、初めての彼女とのドライブは、友人の車を借りて京都に行きました。今の若い人のように、簡単に車を持てる時代ではなかったもので、学生時代は運転したくても運転する機会がありませんでした。(ET 氏)

4 年の春まではクラブ(洋弓部)にかなりの時間を割いた。日曜日の試合が多く、朝早くから出かけて行った。当時は(今も同じかも知れないが)、休みに朝早くから長い物を持って電車に乗っている人は、ゴルフか釣りか洋弓部かであった。(RM 氏)

◆ アルバイトについて教えて下さい ◆

Q. どんなアルバイトをしていましたか？

大学 17 期

定番の家庭教師は大学院の 2 年間を含めて 6 年間週 2 回やりました。中学 1 年から高校 3 年まで同じ男子生徒を教えました。晩飯もついていて助かりました。家庭教師先からも信頼されましたが、生徒の男の子はいつも比較されてつらかったのかもしれない。反発からか、最後の高校 3 年の時、通っていた高校のバリアード封鎖の一員に入ってしまう、彼は留年を余儀なくされました。そんな時代でした。率のいい面白いバイトも体験しました。S 君が紹介してくれたテレビクイズ番組の収録の裏方です。お金も良かったしテレビ局の豪華な飯も付いていました。覚えているかたもおられるかもしれませんが、番組は「巨泉まとめて 100 万円」です。ベルトコンベアに次々に品物が流れてきてゲスト回答者がそれらの値段を当てる番組です。そのベルトコンベアに品物をタイミング良く乗せ、降ろす仕事です。モデル出身のトラのぬいぐるみを着たスタイルの良い若い美人の三人のアシスタントがいた番組を覚えておられる人がいるかもしれませんね。その三人と私たちとなにかあったって。話ぐらいいは良くしましたが、貧乏学生には見向きもありませんでしたね。しょせん住む世界が違くと、少し古いようですが、その時は思ったものです。芸能人がゲストに沢山きましたが、当時あこがれの吉永小百合がくる時は、だれがバイトに行くかでもめましたね。テレビの収録が遅くなった時、帰る電車がなくなってしまうことがありました。どうしようかと思っていたら、係りの人が、タクシー券をくれました。タクシー乗って、名神で大阪から京都まで帰っていいよ、と手渡された時、もったいない、本当に使っているのか、と思いました。バイト代よりはるかに高価なタクシーチケットですものね。(MO 氏)

大学 28 期

家庭教師(¥2 万~3 万/月)、
泉北高島屋の店員:(YK 氏)

現役生(大学 50 期以降)

スイミングインストラクター(¥1,200/時間、約¥40,000/月)、レストランのスタッフ(780 円/時間・5 万円/月)、飲食店厨房(4 万~6 万/月)、家庭教師(15000 円/月)、ウェイトレス(70000 円/月)、公文の先生(6 万~9 万/月)

大学 20 期

<アルバイト内容>

家庭教師, 塾の教師が大多数.

近鉄デパートの酒売場. このバイトはアイスホッケー部として参加しているので, 1 年から 4 年までやっている奴もいた. 4 年になると在庫調査, 発注, バイト学生の査定までを担当. 殆ど社員と同じ: (KM 氏), 疑わしい訪問販売・夜警・高島屋倉庫での梱包: (HD 氏), 大阪中央郵便局・木枠製作など: (TY 氏), 早朝はゴルフ場のボール拾い, 昼間はコココーラの配達員, 夜はフジカラー現像所など: (ET 氏)

百貨店の物品納入, 英文マニュアルの翻訳(間違いだらけだったと思うが, 兎に角, バイト料は貰えた). 大学院の時, 私立高校の非常勤教員(物理)をしたが, 面白くない授業で, よく生徒から他科目の質問を受け(英語や歴史)教えていた. また, ジーパンで授業をしていた事もあり, そのうちに父兄からお叱りを受け, 辞めさせられた: (YI 氏)

デパート店員, 冷凍倉庫アイスクリーム搬入, 質屋: (TK 氏), 学校の宿直: (TM 氏)

<アルバイト代>

まあまあ, 平均で月2~3万円,

家庭教師:小学生 ¥5,000/月, 中学生 ¥8,000/月,

¥3,000/月(安かったが近所の家の教師でそれ以上は言えなかった. 1 年で辞めた): (HT 氏)

非常勤教員:1~2万円/月, 翻訳:¥1,000/頁?

大学 30 期

<アルバイト内容>

家庭教師, 交通量調査, 路上アンケート調査, TV ゲーム販売員, 雀荘での給仕, 警備会社の交通整理, テニスインストラクター, 測量助手, 公団アパート空室清掃, タイヤ工場, 自転車製造工場, 白蟻駆除(きつくて3日で辞めた)

<アルバイト代>

家庭教師で 20,000 円/月前後. 交通量等の調査関係で 10,000 円/回前後. インストラクターは 2,000 円/90 分とさすがによい. その他は, バイト代 4,000~5,000 円/日程度の時代だったと思う. 皆さん, 30,000~40,000 円/月程度稼いでいたようだ. 会社の初任給よりもバイト代を稼いでいた方もあり.

Q. アルバイトについて自由にお書き下さい

大学 20 期

堺で1晩8,000円の肥料運びのアルバイトをしたが, 体力が持たず, 結局3回しか行けなかった: (TY 氏)

2~4年生の時は, 夏, 冬の休みに会社/商店の配達などのアルバイトをした. 今のように, ファーストフードや居酒屋チェーンが殆ど無かったので, バイトの選択肢は少なかった: (HT 氏)

頼まれて嫌々(?)した, 近所の子供達および親戚の子供の家庭教師ぐらいしかアルバイトの記憶はない: (RM 氏)

現役生(大学 50 期以降)

多い時は4つくらい掛け持ちしました. 家庭教師&塾講師&MOS&水泳インストラ. 勉強に差し支えた覚えはないので, 要は時間の使い方次第だと思う. あと, ヒューレットパッカードで心電図被験者のバイトをした時は, なんだか気持ち悪かった. 1時間くらい延々, 心電図取られて終わり. 確か¥3,000 貰った: (M1)

ひとり暮らしは, やはりまかないの出る飲食関係のバイトでお腹を満たしています. (M2)

● 大学20期 ●

学部では年間100日近く、二色浜でヨット部の合宿に明け暮れていましたので学生生活＝ヨット部での合宿という感じでした。大学院の2年間はTOSBAC3400?という電算機に振り回されていました。(TH氏)

勉学とクラブ活動(日本拳法部)を適度に励み、楽しい4年間でした。在学中に学生運動が全国化し、我が穏健派の府大もバスケード封鎖されました。MU君がバスケード内に立てこもり、食料支援のためにアトラスの下宿を訪ねてくれましたが、何せ貧乏学生のために何も支援できずでした。MU君ごめんな。(HD氏)

修士2年の時の第4講座主催の餅つき大会。銀行との合ハイ(当時は合コンと呼ばずに合同ハイキングといったはず。)ハイキングの後ピヤガーデンで酒を呑んだが、女性銀行員1名が呑みすぎでトイレから出て来られず苦労した。(KM氏)

1回生の時、大雨で白鷺門側の鉄塔付近が水溜りになり、1時間目の近代物理の先生と一緒に、地道を靴を持って裸足で歩いて大学に行った。南海中百舌鳥駅(当時は木造)で、くたびれたトレンチコートを着た貧弱なオッサンが電車を待っていたが、南海の鶴岡監督だった(南海の中百舌鳥球場がありました)。研究室で鍋や焼肉パーティーをした。冬には前日から準備をして餅つきをした(一升瓶を下げて、子供連れで見学に来られる他学科の先生もおられた)。また、4講座の業務を担当していた納家君は近大の夜間学生で、試験前になると4講座の大学院生総出で、納家君の試験準備に頭を悩ました。(YI氏)

車が欲しくて、弟と2人で金を貯めスバル360を買ったが半年ほどでつぶした。非常に高い買い物であった。学校を離れるとバイト中心の生活であったような気もするが、金がなかった割にはそれなりの生活もでき、又将来の夢も色々思い浮かべていたように思う。その中で実現できたのは新造船の基本設計辺りかな。(TY氏)

ボート生活の思い出。学生時代はボート部に入り約3年間、浜寺の大府艇庫に合宿し、連日朝5時のボート練習と放課後のサーキットトレーニングで厳しい練習の明け暮れでした。しかし、3年のとき全日本選手権(戸田)にエイトで出場できたことは本当にいい思い出です。だから、今でも会社のメンバーとエイトを楽しみながら漕いでいます。今はボート部のような厳しくて、面白みも少ないエイトをひたすら漕ぐ人はいなくなったのでしょうか?。(ET氏)

大半の時間を部活に費やし、とにかく勉強しなかった。今になって後悔する面もあるが、それでも会社はクビにならず何とかやってこられた。そういう意味では、勉強だけではないと言える。(HT氏)

府大入学は35年前。最近特にボケが始まり?当時の記憶があまり残っていません。別に忘れようとしている訳ではないのですが、私の場合、百舌鳥そのものが母親の実家の地であり、小さい頃から慣れ親しんだ土地ですが、50年間の百舌鳥周辺の変わり様には目を見張るものがあります。最近は無沙汰していますが、益々、大都会?へと変身している事でしょう。因みに50年前は三国ヶ丘の駅から大学辺りが見えていました。廻りが田圃で、途中に高い建物が何も無かったと言うことです。(RM君)

自宅通学であった事もあるが、奨学金とアルバイトで大学に行けたと記憶している。兎に角、学費が安かった。自宅通学の気のあった友2人とつるんでいた。講義がすめば、学校周辺にはいなかった。また、友を介して他大学の友とも麻雀、海水浴等で遊んだ。勉強したとは思わないが、単位で苦しんだことはなかった。(TK氏)

寮にいたおかげで、沢山の優秀な先輩に勉強を教えてもらいましたが、同時に手を抜ける所が分かったので、努力は最小限で済ませました。しかし、社会に出てからはそれでは通用せず、結局30歳を過ぎてから受験勉強をするはめになってしまいました。人間、一度は必死に勉強しなければならぬ時があると感じました。同級生のY君と夜中ドライブした時の事。琵琶湖の近くでキャベツを数個盗んで車のトランクに入れて京都市内へ入ったところ、バトカーに止められました。京都堀川署へ連行された時、一瞬これで人生駄目かなと思いましたが、始末書で済みました。これが私にとって最後の窃盗でした。(TM氏)

● 大学28期 ●

やはり、漕艇部のクラブ活動:(YK氏)

● 大学17期 ●

当時は70年安保の時代でした。府大も例にもれず、ヘルメットをかぶった学生運動があったのです。船舶の学生はいなかったようですが、経済学部の人が多かったようです?工学部は忙しくてエネルギーの使うところが違ったのかもしれませんが。経済学部はなにせ時間があつたようで、なんていったら失礼かも。ラグビー部の経済学部の後輩数人がラグビー部をやめて学生運動に流れました。よく学生会館でラグビー部もどるように説得したことがありましたが爽りませんでしたね。みんなその後どうしたのでしょうか。当時、ボランティア活動のはしりもやりました。ボランティアの言葉自体もまだまだ知られていない時代でした。大阪肢体不自由児協会というのがあって、男の子が足りない大阪女子大の女性にラグビー部の仲間が誘われて、女の子が多くいるならと、夏の琵琶湖キャンプに参加しました。動機はいわげんでしたが、大学2年から修士を卒業するまで、まじめに5年間ボランティア活動をしました。夏のキャンプ、バスツアー、クリスマス会、家庭訪問、ヘルパー、街頭募金と身体障害者の多くの子供たちと接し、今ほど恵まれた社会福祉の状況でなかった時代でショックなことも多く体験しました。一つあげるとすると、重度身体障害児童の家庭訪問をしたとき、座敷牢のように格子のある部屋で子供が過ごしていた事実を知ったときでした。今はもうこんなことはないでしょうが、当時はまだまだ障害者が社会に認知され理解される時代ではなかったのです。でも最大のボランティア活動での収穫は今の奥さんに出会ったことでしたね?:(MO氏)

● 大学30期 ●

学科の団結が強く、青いつなぎのユニフォームまで作って、強制することもなくみんなを着ていたと思う。まとめ役も多くいて、卒業アルバムまで自分たちで作った。授業のことはほとんど覚えていないが、良い仲間に恵まれてとにかく大学はおもしろいところだった:(YY氏)

卒業して、約20年が過ぎて、当時の記憶が薄れつつあります(歳かな?)。行った店、船舶工学科の教室、先生の名前(大変申し訳ありませんが)などなど。ただ、一つだけ言えることは、学生時代は、人生の休息、長期休暇時期(勉強ももちろんやりましたが…)であったと思います。いつも、同窓会をやってもらっていますが、幹事さんが大変かもしれませんが、一度大学の周辺でやってみては?(NH氏)

受験戦争も終わり、時間の過ごし方がかなり余裕を持って出来た時期。やったことのないことや色んな人間と出会えた貴重な時間。いろんな店に行ったのだが、その名前がすでに思い出せない。人間の記憶の曖昧さと20年の歳月の恐ろしさを改めて感じた。YYさんの回答にもあるように、卒業アルバム製作事業を展開し、無事に作成し終えたのはすごいことでしたね。印刷屋さんから受け取った時は、ほっと一息でした。その卒業アルバムを図書館に寄贈したが、今もあるのだろうか?(SM氏)

学生時代はあまり服装にも気を配らなかつたように思います。高校時代は革靴だったのに、大学では革靴を一度も履かなかつた。いまから思えば「ヤボ」だったというのがよくわかります。20年も経つとすっかり忘れてしまっています。白鷺と中舌鳥の位置関係も忘れていて、地図で見直したくらいです。それでも、だんだんと思いがよみがえってきて、懐かしい思い出がよみがえってきて、おかげ楽しい時間を過ごせました。(KY氏)

現役生の方々へ→ 「現在の学生生活について卒業生の先輩方へ伝えたいこと」をどうぞ

最近お酒をこよなく愛する学生が少なくなっているような感じがします:(M2)

サラリーマンを退職して、大学院に入ったが、なかなか楽しい。最近の学生はお金もってて、小ざれいにしてるなあと感じる。僕が学部の頃は汚いカッコで学校をうろちょろしてたなあと思う。Tシャツやジーンズが破れても、普通に着てた。パソコンの授業でティーチングアシスタントしてると、講義中にケイタイでメールしてる学生がゴロゴロ居るのにビックリする:(M2)

船の話(講義)が少なくなっているのが残念です。特別講義などで、船の話をしにきてください!:(B4)



昭和43年春、府立大学至誠寮

大学20期 福田 和廣

昭和43年4月、私は工学部船舶工学科に入学した。入学と同時に至誠寮に入寮した。布団と着替えとそして少々の勉強道具だけの簡単な引越しであった。

当時の至誠寮は木造2階建てで数棟あり、その内2棟が使われていた。寮の入り口で案内を請うと、階段の下の小さな部屋からおじさんが出てきて、2階の一番奥の部屋に案内された（後で知ったが案内したのは寮の学生であり、階段下はマージャン室になっていた）。

部屋は4人部屋で、両側の壁に2段ベッドがあり、私には上段部が割り当てられていた。細長いベッドは畳3枚程度で出来ており、窓際にはお経を上げるような正座で座る小さな机があった。寝ているときに部屋の電球がまぶしくないように古いカーテンでベッド全体が部屋の中と仕切られていた。1枚の畳に布団を敷き、足元に荷物を置き、小さな机の側に勉強道具をおいた。このカーテンの中の3枚の畳の空間だけが寮にいる学生達のプライベートな空間であった。（その後の習慣になるのだが、4人部屋でカーテンだけで仕切られたベッドで毎日寝ると、常に壁に向かって寝ることから、同じ方向の横向きで寝る癖が何年間かついていた）

同室は大学院1年のYさん、4年生のHさん、3年生のGさんで入学したの私にとっては大人の先輩たちであった。Gさんの友達で隣の部屋の3年生のOさんも同室のようにいつも一緒であった。入寮した日は寮の風呂がなく（日曜日でなかった？）、同室の皆で風呂屋に行き、帰りに大野芝の角にあった飯屋に寄った。その飯屋のおばちゃんは、ビールのことをビールと言っていた。そこで、大瓶1本が私の分とされてビールを飲んだ。なんってたって初めてのアルコール。しかも入寮で緊張しており、風呂の後、私は完全に酔っ払ってしまった。ビ

ール1本でゲーゲー吐いて、同室の先輩に看病してもらった。今にして思うとこれが一生の酒の飲み始めであった。酒の飲み方で現在は一機飲みが問題になっているが、寮で酒を飲むときはコップではなくて、どんぶりで一機に飲んだし、飲まされた。3年4年と私は上級生になるほど酒の飲み方はうまくなった。コンパなどで飲むときは、トイレで口に指を入れて自由に吐くことが出来るようになり、吐いては飲み、飲んで吐いて後輩からの酌に対応できるようになった。今思うと、実にもったいなくもあり、無駄なことをしたものだ。吐くので思い出したが、寮の便所は当時汲み取り式であった。大変臭く鼻をつまんで大便はしなければならなかった。寮の水道は赤さびの出る水道であった。最初に洗濯をしたときは下着が茶色くなったのに驚いた。その後はどうしたのか覚えていないが、なんとか洗濯はしていたので対策を考えたのだろう。

寮の食事は麦入りのご飯であった。朝食は味噌汁と沢庵と昆布の細く切ったものだけであった。味噌汁の具は毎朝同じでキャベツと揚げと豆腐であった。これが桶に（馬のかいば桶に似た形の物）に入れてあった。朝遅く起きると具はほとんどなかった。徹夜明けに食堂に行って一番で飲む味噌汁は具も多く実にうまかった。ついでながら、今も女房の都合が悪く私が味噌汁を作るときはキャベツの味噌汁をつくる。しかし、どんなにしても学生時代の徹夜明けの味噌汁の味は出ない。寮の食事で思い出すが、いつも専門書を読みながら食事をしている先輩がいた。まるで昔の小説にでも出てくるような、めがねをかけて、猫背でひとりもくもくと専門書や論文を読みながら食べていた。なんでも農学部の大学院の人で、博士課程に行くとか行ったとかの人であった。この人は驚くことに見かけによらずダンスがうまかった。

ダンスで思い出したが、寮祭では女子大や近くの短大の寮の女の子を呼んでダンスをした。もちろん入寮したての一年生はホークダンスは小学校で習って知っているが、ブルースやジルバなどの社交ダンスなど知らない。そこで、寮の先輩達が教えてくれる。私の場合は同室のYさんが教えてくれた。そのおかげで今でも社交ダンスは踊れるが、ステップが優雅でないのはその時の教え方で妙なくせがついたのであろうと思っている(女房に言わせると私が本来不器用だからだといってるが)。寮祭でのダンスパーティーは寮の講堂であった。暗幕か何かで引かれて大変暗くされていた。大学のバンドクラブが来ていたような気もするが、レコードだったか覚えていない。ジルバを踊ったときは天にも上る気持ちであった。腕に女の子を抱え込むなんて生まれて初めてであり、女の子の腰はこんなに細いのかと驚いた(あとでわかったが、人にもよるといことが)。

寮祭の夜はキャンプファイヤーをした。春歌が大声で歌われ、よくまあこんなに春歌がある物だとも思ったし、なかなかの名文句だと感心もした。今もその内の2, 3曲は歌えるが、他人の前で歌った事はない。

寮祭では女の子が部屋に来て食事か何かを一緒にした。何の話をしたのか忘れた。それから女子寮の寮祭にも招待されて行ったこともあった。寮祭の後などは女の子の話題で遅くまで同室の4人と隣の一人を入れて話したものである。何を話したかは忘れたがまあ源氏物語の「雨夜の品定め」みたいなのだろう。

悩む年頃でもあり同室の4人と隣の1人をいれて議論したケースは女性問題がもっとも多かったが、人生についての話しも色々した。徹夜で議論した中に、Yさんが小説を映画化した映画を見に行くと大いに感動したとの話から、映画と本はどちらに価値があるかについて議論したことがあった。私は本の価値を主張した。イメージが人間の創造性を作ると言うことをこの議論を通じて自分に考えが出来た。おぼろげに思っていることが、議論をすることで、整理が出来るのである。この時の議論の場面は今も覚えている。徹夜で議論した朝に、近くの池を一人で歩いた。

55才の今になって思うのだが、至誠寮の仲間と交わした議論が私を育ててくれたと思う。よき先輩、後輩、同輩との議論のなかで、自分の考えを磨き、他人の考えを吸収し、自分は成長したのである。もし、これらの議論がなければ、そして至誠寮に入っていなければ、私は別の人生を送ったと思う。正面切った、心からの議論は人間を育ててくれるものである。今の青年達に望みたい。本当の議論をせよと。そして議論できる友人、先輩を持って、探せと。

この年の冬に、この木造2階建て寮は壊され鉄筋コンクリート製のまぶしい新寮へと全員が移った。



<現在の至誠寮>

至誠寮のひととなり

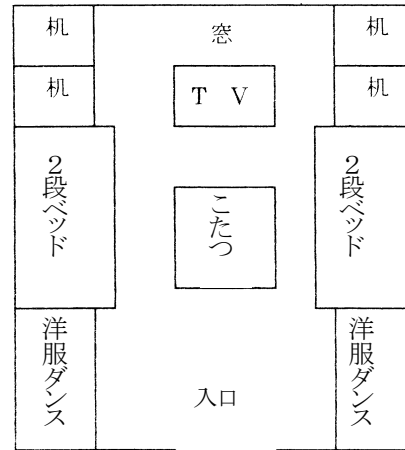
大学 51 期 谷本 周太・夏目 匠（現 博士前期課程 1 年）

至誠寮は大阪府立大学の男子専用の学生寮です。現在の建物がいつ建てられたものかは私達は知りませんが、黒ずんだ壁がその年代の古さを感じさせます。もとは定員が320人で4人部屋という設計になっていますが、ここ3～4年は160人程度が暮らしていて2人部屋が普通です。部屋の間取りは現在はこんな感じです。（図）私がここに棲み始めたのは5年前になります。初めてこの建物を見たときは学校の廃墟のようで物の怪の気配すら感じました。しかし、中に入ってみると不思議な空間でした。夜は飲み会やマージャン大会がくりひろげられる不夜城のようである一方で、昼間は学校に行くもの、パチスロに励むもの、寝ているものがいて、ひっそりと静まり返っていました。

今も建物は5年前とほとんど変わりませんが、周りの環境や寮内の生活スタイルはどんどん変わっています。至誠寮の眼下に広がっていたグラウンドは売却され今ではすっかり住宅地が変わってしまいました。寮生同士でキャッチボールやサッカーなどをする機会がめっきり減ってしまいました。また、寮前グラウンドで行われていた運動会も他の場所でする他は無く、漢前リレーの存続が危ぶまれています。このグラウンドではスポーツ大会も行われており、昨年は農学部前グラウンドに場所を移して実施したのですが、その農学部前グラウンドに新校舎を建設するため今年からは使うことができず、困ってしまいました。年1回行われる寮祭は相変わらず続いています。堺東で行っていた仮装行列は、3年前から警察署の許可がなくなりなくなったため、なくなりました。良くも悪くも地域住民に強烈なインパクトを与えていたのですが…。皆様の中で、警察関係者の方がいらっしゃいましたら、ぜひとも復活のための圧力をかけていただきたいです。ほかにもスポーツ大会や運動会また寮の食堂も廃止されました。値段が安くて量が

多いと一部に熱い支持者はいたのですが、寮生の生活サイクルに合わず利用者が5割以下となり、さらに大阪府が財政難のため炊婦さんの給料が支払えないとの理由で廃止になってしまいました。今では各階に設けられた小さな炊事場で自炊したり、外食産業のお得意様になったりしています。

飲み会やマージャン大会もどんどん少なくなっています。以前は飲む理由を作り出して飲んでいく寮生たちが、理由が無いと飲まなくなった、という雰囲気です。飲み会といえば、今でも残る新歓コンパや追いコンなどでも、改革の波が押し寄せています。2年前くらいに、お酒が嫌で新入寮生がやめてしまい、ちょうど寮生数が減っていた時期だったこともあり、本格的な対策に乗り出したのです。そして、それまでお酒のみだったコンパの席に、なんとジュースを持ち込めるようになったのです！！



<間取り図>

というわけで、実質的にはほとんど変わってないのですが、最近の不景気のあおりを受けてか新入寮生数は増加し、やめていく者もわずか数人です。

生活スタイルが変わってきたため今では24時間使えるシャワーが設置されています。普通の人には当たり前なのですが、寮生にとってはすばらしい設備です。インターネットは去年からなんとBB(ブロードバンド)対応出来るようになりました。DIY(Do it yourself)精神にのっとり自分たちでより住みやすいように工夫しています。部屋の風景はその部屋に住んでいる住人によって全然違いますが、ここでは特徴的な2つの部屋を紹介します。(写真:部屋1・部屋2)

5年前に比べると圧倒的に寮生同士のコミュニティは希薄なものになっています。それに伴い掟やしきたりなども無くなってしまい、掃除をしない下回生やシャワーの順番を守らない者など、アウトローが勢力を伸ばしてきており、我々のような年寄りでも楽な暮らしをできなくなりつつあり残念です。安い寮費に助けられ自分の好きなことに時間と労力を注ぎ、それぞれのコミュニティ中心に生活する人が

増えているようです。バイクに凝るもの、スポーツに励むもの、勉学に勤しむもの様々です。しかしながら、今でも隣の部屋の住人が突然部屋に入ってくることは当たり前ですし、一緒にわいわいテレビを見たり、ゲームしたり、ときに人生を語ってみたりしています。



<至誠寮5階からの眺望>

<部屋1 男くさい?>



<部屋2 きれい?>

平成15年の8月末に神戸で集まりました。木村夫妻が広州の駐在を終えて日本へ帰り、全員日本にいたことになったから、久しぶりに集まることにしました。私たちの世代の多くは海外赴任のはしりでたくさん海外へでかけました。木村夫妻は 50 過での初の海外赴任でした。それにもうすぐ人生の節目還暦を迎える年になってしまうので、その前にとの思いもありました。だから、このさい全員の安否？を確認することにしました。便利な時代で、Chain E-mail で連絡をとりあい、近況を相互に流しました。18 人のメールアドレスがわかりました。メールで連絡とれない同窓生は各自担当して電話や手紙で連絡をとりあい、幸運にも全員がなんとか元気で過ごしており、その近況もメール経由で確認できました。

さて、同窓会の当日は 14 名が参加しました。奥様も 4 人参加されました。富山や岡山や多治見からも駆けつけてくれました。多治見から駆けつけた住吉君は三年

生の時退学し、歯科医の道へ進みましたが、連絡がとれて参加資格があるのかと言いながら来てくれました。木村夫妻、後藤博、木之瀬、崎谷夫妻、西田、梶夫妻、長田、大西、住吉、手塚、宗、佃、川尻、小倉夫妻の 18 名の参加者でした。全員リストラの嵐にもめげず元気な姿を見せてくれました。

船舶の同窓会なので？神戸元町から出ている船名パールメダールのビヤクルーズにまず乗り込みました。アップパーデッキの部屋で歓談しすぐに学生時代にもどり旧交を暖めることができました。明石海峡大橋の虹のライティングを観て、元町に戻り、元町のホテルのスポーツバーで再び歓談しました。夜の 11 時半まで話し込みました。その後ホテルに宿泊の 9 人は、夜遅くまでまた部屋に集まり話し込みました。

2 年後の還暦前、定年前に集まることを約束して散会となりました。さて、2 年後は？



<当日の様子>



新入生歓迎セミナー報告

勝井 辰博（海洋利用システム工学講座）

本年度、海洋システム工学科には 31 名の新入生が入学しました。彼らを歓迎する恒例の新入生歓迎セミナーが去る 4 月 19 日、学術交流会館で行われたのでご報告します。当日は新入生のほぼ全員が参加、先生方や上回生も大勢参加していただき大いに盛り上がりました。このセミナーの目的は新入生との親睦もさることながら、彼らが大学に入学した今、何を思い、あるいは戸惑い、そして何を指そうとしているのかを彼らの視点に立って理解し応援していくことであると思います。ありきたりのアドバイスなどは彼らにとってむしろ軽薄な響きを持つだけかもしれませんが、少なくとも彼らの思いを共有したいというのが私にとってのこのセミナーの位置づけでありました。そこで今回は今までにはない企画として、上回生と新入生の座談会なるものを計画しました。無論、教員を巻き込んだ座談会です。新入生に年齢的にも近い先輩たちが学生生活や自分自身のことについての話題を提供し、新入生がそれに疑問や質問を投げかける。それに教員も入り乱れて話し合っていく。そんな座談会を 4 回生や修士の 1 年生を中心とする学生諸君と一緒に計画し、当日の明け方近くまで準備をしました。準備をしてくれた学生の諸君は積極的に意見をだし、事前に新入生に対してアンケート調査を行うなど、この企画を成功させるために精一杯がんばってくれました。当日は、最初に学科の歴史とその概要についての説明があり、その後、各研究室の学生諸君がユーモアを織り交ぜつつ自分たちの研究室の研究内容などについて説明を行ってくれました。その後、座談会が始まりました。最初はなかなか座談会

にはとけこみにくかった新入生もだいに発言をしてくれるようになっていきました。先生方も普段とはちょっと違う一面を見せてくれたりしたのがとても印象的でした。座談会が新入生にとってどれだけ有益であったかはなんとも評価できませんが、少なくとも自分たちのために積極的に自らのことを話してくれる先輩たちの真摯な姿は印象に残ったのではないのでしょうか。残念ながらその後予定されていたキックベースボール大会は悪天候のために中止せざるを得ませんでした。最後の懇親会では、新入生と先輩、そして先生方が非常に打ち解けた雰囲気でも語り合う姿が至るところで見受けられました。今後も海洋システム工学科全員参加型の新入生歓迎セミナーを続けていければよいのではないかと思います。



＜座談会の様子＞



＜座談会で発言する新入生＞

＜参加者全員で＞



オープンカレッジ報告

大学 35 期 大塚 耕司

大阪府立大学工学部では、高校生、予備校生および高等学校の先生方を対象として、毎年、工学部と各学科の説明会、体験入学、体験実験などからなるオープンカレッジを開催しています。今年は、夏休み期間中の8月6日(水)に行われ、海洋システム工学科は、表1のような5つのテーマの体験実験を実施しました。体験実験は、午前の部と午後の部の2回行われましたが、それぞれ5名と4名の参加者があり、全員高校生でした。中には、大学32期卒業藤本昭氏のご息や、今春兵庫県立生野高校の数学教師として赴任した大学51期松井齊氏の教え子もいて、少々脱線気味の会話も含め、たいへんアットホームな雰囲気となりました(写真1)。体験実験では、高速曳引台車を用いて波浪中で滑走する高速船の運動計測を

行ったり(写真2)、府大池で水質の計測を行ったりして(写真3)、2時間程度の短い時間ではありましたが、大学のアカデミックな雰囲気を存分に味わってもらえたのではないかと自負しています。アンケートはほぼ満点に近く、中には「とてもいい人たちばかりで、本当に丁寧に教えて下さったのでとても感謝しています。3年後には府大に来られたら良いと思いました。」というコメントもあり、思わずガッツポーズが出てしまいました。オープンカレッジはこれからも毎年開催する予定です。特に高校生のお子様のいらっしゃる方や、関連の機関にお勤めの方には、来年もぜひ宣伝活動にご協力いただければと思います。

表1 海洋システム工学科体験実験テーマ

No.	テーマ
(1)	小型水槽実験—海洋の重力流を再現しよう—
(2)	海洋のリモートセンシング—宇宙からの海洋観測—
(3)	水質計測実験—海を救うために水質を測る—
(4)	船舶性能試験—波の中を進む高速船の運動を調べよう—
(5)	鋼鉄をひきちぎる—こわれるしくみを調べる—



<学科説明の様子>



<高速船の実験>



<府大池での水質計測>

<「鷗朋」原稿募集>

■自由なテーマでご投稿下さい■

- ・原稿は、電子メール、ファックス、郵便(原稿用紙やフロッピーディスク)、などでお送りください。
- ・分量については、柔軟に対応します。写真やイラストつきの原稿も大歓迎です！

宛先 〒599-8531 堺市学園町 1-1 大阪府立大学工学部 海洋システム工学科気付 鷗朋会事務局
TEL/FAX: 072-254-9914 E-mail: doso@marine.osakafu-u.ac.jp

雨ニモマケズ 風ニモマケズ

- テクノラボツアー報告 -

大学 37 期 有馬 正和

産官学の共同研究を推進する目的で今年度から始まった「テクノラボツアー」の第3回目を海洋システム工学分野が行うこととなった。第1回、第2回を担当した応用化学分野、経営工学分野のときは盛況だったとのことで、プレッシャーを感じながらのスタートとなった。

第3回テクノラボツアーの概要を以下に記す。本企画の主催は大阪府立大学産官学共同研究会で、その会員メンバーを中心に案内状が配布されているが、インターネットやメールリストを通じて本学科独自に船舶・海洋関係、同窓会会員への広報活動も行った。参加申込者は、7月末日の締め切り時点で定員を上回る21名となり、ホッとひと安心したのだった。21名の内訳は、造船関係7名、宇宙・海洋機器製造業2名、電気・ガス業3名、化学・ゴム・金属・ガラス製品製造業4名、機械製造業4名、情報・通信業1名である。

ところが、何年かぶりに近畿を直撃するという台風10号の進路予測が発表され、前日から天気予報との睨めっこが続いた。午前中から降り出した激しい雨の中、学内に案内表示を貼り付けて回っている頃、職場の台風対策あるいは台風の影響で5名が欠席するという連絡が入ってきた。交通麻痺なども心配されたが、運良く受付の頃には雨も小降りとなり、関東や中国地方など遠くからの参加者もお迎えすることができた。

最初に池田教授より分野全体の説明があり、その後研究室の見学へと移っていった。見学を希望された研究室の内訳を見ると、①8名、②14名、③7名、④9名、⑤4名であった。各研究室では、コンピュータシミュレーションやインターネット・

実験装置を用いたデモンストレーションなど研究紹介に工夫をしていただいたこともあって、参加者には大変好評であった。

また、台風の影響で時間を繰り上げて行った懇親会では、参加者それぞれの分野を超えて情報交換が行われ、今後の共同研究に向けた話も尽きなかったようである。

散会の頃には丁度雨もあがっていたが、台風10号は、午後9時半頃、室戸市付近に上陸した後、大阪湾を北上して、翌朝、西宮に再上陸し、その後北海道で大きな被害をもたらしたことは記憶にまだ新しい。



<懇親会での一コマ>

第3回 テクノラボツアー 工学研究科 海洋システム工学分野

日時: 平成15年8月8日(金) 13:00 ~ 18:00
見学先: 工学研究科 機械系専攻 海洋システム工学分野研究室
主催: 大阪府立大学産官学共同研究会
協力: 大阪商工会議所
集合場所: 工学部6号館2階 206室(海洋システム工学分野会議室)
スケジュール:
集合時刻: 13:00 (受付開始:12:30)
全体説明: 13:00 ~ 14:00
研究室見学:14:00 ~ 16:00
技術相談会:16:00 ~ 17:00
懇親会: 17:00 ~ 18:00

見学は、以下に示す研究室から2カ所を選択していただいた。

① 「再生型資源利用の最前線 —海洋深層水から海藻バイオマスまで—」大塚研究室

循環型社会への移行が叫ばれている今日、海洋においても、再生型資源利用の推進が最優先課題となっています。本研究室では、外洋および閉鎖性内湾における再生型資源のホープとして、それぞれ海洋深層水および海藻バイオマスに着目し、それらの有効利用に関する基礎研究を実海域調査、基礎実験、生態系モデリングの三位一体のアプローチで行っています。

② 「計算機で調べる流体機器の性能 —CFD技術の設計応用—」姫野・田原研究室

本研究室では、船舶の周りの流れをコンピュータシミュレーションによって再現し、船舶設計に応用する研究を行ってきました。このシミュレーション技術は船舶のみならず、さまざまな流体機器設計に応用することが可能です。今回はこれまでの研究成果を紹介し、どのような流れをコンピュータシミュレーションによって再現できるかを紹介します。

③ 「薄板構造物の強度推定法の研究」正岡研究室

非線形有限要素法による薄板構造物の強度推定法の研究を行っています。インターネットを通して本研究グループで開発したシステムを利用することができ、計算力学から得られる構造力学的知見を設計等に活かすことができます。

④ 「高速艇と客船の科学」池田研究室

脚光を浴びる高速船と大型クルーズ客船に関する現状、将来性、性能把握手法、経済性分析等についての研究の現状を紹介します。高速艇については、水槽実験法を基礎として推進性能分析法、ポーポイズング等の不安定判定法、波浪中の運動性能等の技術を、また新しい巨大産業として定着した客船の乗り心地改善技術や経済性分析、需要予測等について説明をします。

⑤ 「ヒューマン・ファクターを測る」細田研究室

本研究室では、乗り物酔いの発症やヒューマン・エラーの解明に向けて人体の生理的・心理的反応の計測を行っています。船体運動を模擬できる『乗り心地シミュレータ』を使った動揺曝露実験を実施し、最新の解析手法を駆使して生理的反応の客観的指標の確立を目指しています。また、ヒューマン・ファクター計測支援システムの開発なども行っています。

編集後記

「・・・NAKED」,
アップテンポな「Don't Let Me Down」と
「Long And Winding Road」のピアノが泣けます (ToT) (坪郷)

先日, 出張先の高知で「サバのたたき」なるものを食べました.
超美味です!! みなさま機会があれば, 一度ご賞味ください! (中谷)

現在, 海洋システム工学科が入っている, 年代物の校舎外壁の
修復工事が行われています. 日々, 騒音と砂埃との戦いです. (事務局)

鷗朋会ニュース「鷗朋」 第6号

2004年3月1日 発行

編集発行: 大阪府立大学大学院工学研究科
海洋システム工学分野気付

鷗朋会 (けきほうかい)

〒599-8531 堺市学園町1-1

TEL./FAX. 072-254-9914

Email: doso@marine.osakafu-u.ac.jp

<http://msweb.marine.osakafu-u.ac.jp/~web01/ob/ob.htm>

郵便振替口座番号 00970-7-126500

加入者名: 鷗朋会

印 刷: (株)春日